



# 延岡中央ロータリークラブ



## 週報

### NO. 2140 (47-21) 2026. 1. 22

2025-2026 年度 国際ロータリー会長メッセージ  
「よいことのために手を取りあおう」

事務局：〒882-0047 延岡市紺屋町 1-4-22 TEL 0982-35-4986  
E-mail：[ncrc@bf.wakwak.com](mailto:ncrc@bf.wakwak.com) FAX 0982-35-4987  
例会場：エンシティホテル延岡 (延岡市紺屋町 1-4-28 TEL:0982-32-6060)  
例会日：木曜日・昼 12 時 30 分

令和8年1月15日

## 第2139回 (47-20) 例会

### ロータリーソング

「奉仕の理想」  
「四つのテスト」

SAA：上杉健一郎  
リーダー：西道和也

### プログラム

◆職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕フォーラム

### 幹事報告 (馬原弘企幹事)

- ◆・本日の例会終了後に 理事会を開催致します。理事の方はお残り下さい。
  - ・来週 22 日は 18：30 分より新年会を開催致します。  
出欠など変更のある方はお早めに事務局にご連絡ください。
  - ・来週の 24 日 (土) は延岡東 RC の創立 60 周年記念式典・祝賀会がガーデンベルズにて開催されます。13 時より式典受付、15 時より祝賀会受付開始となっております。  
当クラブより 18 名参加されます。宜しくお願ひ致します。
- (地区行事)
- ・第 4 回奉仕プロジェクト部門 ZOOM による勉強会の案内が来ております。  
開催日が 2 月 16 日 (月) 18：30～19：15 (対象ロータリアン/一般の方も参加可能)  
今回のテーマは『楽しい会員増強』という事で会員増強におきましても各地区からの講演ご依頼の多い 信州友愛 RC の方がご講演されます。詳細は回覧します。
  - ・『書きそんじハガキキャンペーン 2026』ご協力のお願ひが来ております。  
詳細は回覧していますのでご確認ください。

### ロータリー財団委員会 (兒玉隆委員長)

◆ご芳志を頂きました。(本日の BOX ¥2,000 / 累計 ¥39,753)

### 米山記念奨学委員会 (谷山光信委員長)

◆ご芳志を頂きました。(本日の BOX ¥2,100 / 累計 ¥42,400)

本日の出席	会員数	49名 内免除会員2名	欠席	高見君・甲斐(睦)君・藤原君・甲斐(稔)君 甲斐(寛)君・花岡君・金子君・緒方君・柴君 山岡君・大神君・犬飼君・高森君・松田君 岡田君・島田君
	出席数	31名		
	欠席数	16名		
	出席率	63.83%		
				【先取】 西本君・兒玉君・川口君

## ◆会長の時間 (北林祐一会長)

皆様、あけましておめでとうございます。令和8年の輝かしい新春を、皆様と共に健やかに迎えることができましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より本クラブの運営に対し、多大なるご理解とご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、私の会長任期もいよいよ後半戦に入ります。昨年を振り返りますと、皆様のも多大なるご協力、ご活躍のおかげで、地区大会を初め、色々な活動を成功することが出来ました。改めて厚く御礼申し上げます。2026年、干支の「丙午（ひのえうま）」は、古い殻を脱ぎ捨てて活力が溢れる年とも言われます。当クラブにおいても、伝統を重んじつつ、時代の変化に合わせた新しい奉仕の形を模索していきたいと考えております。

今年度の地区のメッセージは「居心地の良いクラブとは」であります。後半戦もこのメッセージを胸に、会員皆様の親睦をさらに深め、地域社会に貢献できるよう邁進してまいります。皆様には変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。最後に先程、今年の干支で紹介した丙午について、現代では迷信で差別的な事象であり不適切とは思いますが、少し触れて会長の時間とさせていただきます。丙午とは十干（じっかん）の「丙」と十二支の午が組み合わさる60年に一度巡ってくる干支で、火の性質を二重に持つため「火の馬」とされ、情熱的で力強い意味を持ちます。しかし、日本では「丙午生まれの女性は気性が荒く夫の寿命を縮める」という迷信が広まり、1966年の丙午では出生数が減少した歴史があります。この迷信はなぜ生まれたのか調べてみました。江戸時代初期までは、単に「火災が多い年」という警戒心がある程度のものでしたが、ある事件をきっかけにイメージが激変したようです。その事件を簡単にご紹介すると浄瑠璃や歌舞伎のヒロインとして有名な「八百屋お七」にあると言われていたようです。八百屋お七は、八百屋の娘で、天和2年（1682年）の江戸の町の火事で焼け出され、寺に一時避難していました。その避難所で出会った男に恋心を抱き、その男と人目を忍ぶ仲になってしまいました。しかし、新居が元の場所にできたので避難所を引き払うこととなり、男と会えない生活に戻ってしまいました。そこで、お七は再び火事になれば男と再会できると考え、大胆にも大罪の火付けを犯し、自らこの男に会うために半鐘を叩きました。そしてその咎で火刑に処されたようです。このお七について、浄瑠璃作家の紀海音の作品などで「丙午生まれ」と描かれたことから、火災の迷信と結びつき「丙午の女性は気性が荒く、惚れた男を滅ぼす」という迷信の象徴として語られるようになったようでした。ただし、実はお七の実際の生年には諸説あり、お七が丙午の生まれという説には不確かな点が多いようでもあるようです。そこで、今年還暦を迎える丙午生まれの有名人にはどんな方がいるのか調べたところ、小泉今日子、斉藤由貴、鈴木保奈美、安田成美、財前直見、RIKACO、といった強烈な個性の持ち主で、人気者が多いことが分かり、やはり迷信だということを確認出来ましたので報告致します。

### ★1月誕生会員★



川邊應澄会員・友井浄二会員（前列）  
宮本克己会員・大久保次郎会員・田口正幸会員・本田大祐会員

### ◆マルチプルポールパリスフェロー表彰◆



西谷淳会員

### ★結婚お祝い贈呈★



澤藤祐一郎会員

## ◆職業奉仕委員会フォーラム . . . 長友一晃委員長



皆さまこんにちは、私は職業奉仕について、おおざっぱな内容でしか理解していませんでしたが、今年職業奉仕委員長となり、かつ職業奉仕フォーラムがあるということもあり、マイロータリーや他の地区の方の資料を基に学び、まとめてみました。

ここにいらっしゃる皆さんは熟知されているかとは思いますが、改めて職業奉仕についての学びとして頂きたいと思います。

まず、ロータリークラブの職業奉仕とは、ロータリーの目的「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のある物と認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにする事」を土台としています。

職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となります。

その中で生まれたのが四つのテストとロータリアンの行動規範で今でも指針となっています。

職業奉仕とは何でしょうか？結論から言いますと、職業生活を営んでいく上で、自ら事業に関連する関係者（顧客・従業員；取引業者）を対象にして行う全ての活動を総称して「職業奉仕」と呼んでいます。従って、職業奉仕の活動の場は皆さんの職場打ということになります。そして、職業奉仕を実践した成果はこれらの関係者全員に及びます。

延岡中央ロータリークラブには様々な職種の方がいらっしゃいます。皆さんそれぞれお互いの職業について話し合い、尊重し合いました、学び合う事で親睦や信頼できる仲間づくりが出来ます。また、地域社会での奉仕プロジェクトでそれぞれの職業（スキル）を活かしてボランティア活動をすることが大事です。すべての職業（スキル）を活かして行う活動がボランティア活動になります。

クラブ内でも職業奉仕について改めて語り合しましょう。また、マイロータリーにてラーニングコースもありますので是非職業奉仕を学びましょう。どうもありがとうございました。

## ◆社会奉仕委員会フォーラム . . . 本田大祐委員長



ロータリーの目的は、第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること 第3 ロータリアン1人1人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること であり、この第2と第3が職業奉仕や社会奉仕に関することだと思います。ロータリーの目的を達成するために社会奉仕は重要ということです。

また、これらの目的を達成するために、五大奉仕部門があり、そのうちの1つが社会奉仕ということになります。

そもそも社会奉仕とは、「クラブの所在地域または行政区域内の居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るもの（標準ロータリークラブ定款第6条）」です。また、ロータリアン一人一人の個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することであり、この奉仕の理想の適用を実行することについては、各ロータリークラブが多彩な社会奉仕活動を開発して会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきました。

社会奉仕は、ロータリアン一人一人が「超我の奉仕」を実証する機会です。

地域に住む人々の生活の質を高め公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもあります。



国際奉仕とは、ロータリークラブなどの奉仕団体において、他国の人々のニーズに応え、国際的な理解、親善、平和を推進するために行われる活動を指します。

異文化への理解を深め、人道的支援を通じて世界平和に貢献すること。を基本理念とし、おおきく4つに分類されています。

### 1、発展途上国への医療・教育支援や水・衛生環境の整備

安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。私たちの活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めています。

読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人。これは、全世界の成人の17%にあたります。しかも、学校に通っていない子どもは世界に6700万人いると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちの目標です。学校をつくる。アフガニスタンでは、貧困の連鎖を断ち切り、教育の不平等をなくすために、ロータリー会員が女子学校をつくりました。

### 2、青少年交換プログラムなどの国際交流

世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現できると考えています。

### 3、ポリオ根絶活動などのグローバルな保健活動

ロータリーのイベントでよく見るポリオについて

ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のみひを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。今日、ポリオがまだ存在する国（常在国）はアフガニスタンとパキスタンのみとなっていますが、その他の国々でもポリオのない状態を維持していく必要があります。ポリオ根絶活動を今やめてしまうと、10年間のうちに、毎年ポリオによって身体まひとなる子どもが20万人になると予測されています。

### 4、災害被災地への国際的な人道支援

即時の救援 災害発生直後に現地のクラブがパートナー団体と連携してボランティア活動や物資供給を行います。短期的な支援 被災地の生活を立て直すため、世界中のクラブと地区が義援金や物資提供のかたちで支援します。長期的な支援 ロータリークラブが被災地の復旧・復興プロジェクトを計画、実施します。

ロータリークラブの国際奉仕活動は、

現地の団体や他国のクラブと協力し、国境を越えたネットワークを活用してプロジェクトを実施します。

ロータリークラブにおいては「五大奉仕部門」の一つに位置付けられており、会員が世界中の人々と繋がり、より良い国際社会を築くための重要な柱となっています。

詳細は国際ロータリーの公式サイトなどで確認できます。